

# 礼節を重んじ、地域社会で活躍する生徒の育成

## ―地域と連携し、体験活動を重視した道徳教育の実践―

愛知県立守山高等学校 鈴木 宏伸

### 1 はじめに

本校は地域の強い要請にこたえ、昭和49年に東谷山麓の志段味の里に産声を上げて以来、本年度で開校37年目になる。開校当初は地元の生徒が多く集まり、地域の発展とともに地域に根ざした学校という目標を掲げ、進学実績も高く部活動も盛んであった。

しかし、開校20年を過ぎるころから、生徒の状況に少しずつ変化が生じ、問題行動が多くなってきた。その原因として、入試制度の変更（複合選抜制度の導入）や、生徒数の増大に伴う新設校の開校、それによって本校生徒の通学地域拡大など、本校を取り巻く様々な状況の変化が挙げられるが、これらのことは一つの要因に過ぎない。そこで、再度「地域に根ざした特色ある普通科高校を目指す」の目標のもと、平成12年度より全教職員、PTAそして生徒が一丸となって学校改革に取り組み、現在ではかなり落ち着きを取り戻しつつある。

最近では、特別指導件数は減ったものの、ルール・マナーを守らない生徒や、特に目立たない生徒が問題を起こしたり、経済不況で親の所得が低下するなど、家庭環境の変化から精神的に不安定になったりする生徒もいる。そこで、道徳の授業のない高等学校では、道徳性の育成のために地域で様々な体験をする機会や、地域社会と触れ合う機会を積極的につくり、生徒の健全育成に向けた学校の体制づくりと、社会の変化に対応した学校づくりを課題とした多様な体験を設定することが望ましいと考えた。生徒の実態から何が必要か、また、その要因は何か、考え方を整理し生徒の実態に即した理想的なカリキュラムをつくり、家庭や地域との円滑な連携を図る等、様々な観点から実践可能な具体的な方法や内容とその対応の在り方を考えることで、規範意識の醸成に努めようとしている。

### 2 研究の目的

規範意識は、社会のルールや校則、礼儀作法について言われたことを守るだけでは身に付くものではなく、あらゆる教育活動、あらゆる体験を通じて自ら気づき、高めていくものだと考えた。そこで、社会のルールや人前での態度、言葉遣いを自ら考え、実践する力を養うことを目的とし、地域と連携した体験学習や地域社会との協力関係に根ざした活動を推進し、生徒が地域社会で活躍する機会を増やすことにした。また、地域貢献によって感謝され、認められるという経験を通して、自己と社会の関わりについて深く考えさせ、自己有用感や自己肯定感、自己存在感が育つことを期待した。

### 3 研究の方法

本校生徒の規範意識を育成するため、以下の2点を中心に研究した。

- (1) 心を育てる道徳教育の全体指導計画
- (2) 校内の指導体制の充実と異校種、家庭・地域との連携の在り方

(1) 心を育てる道徳教育の全体指導計画

平成22年度 守山高校「道徳教育全体計画」

<p><b>生徒の実態</b> 遅刻防止に努めたことで「時間を守る」、「約束を守る」等、基本的な生活態度の改善はみられた。 一方で、身だしなみ不備、身勝手な言動による迷惑行為、登下校のマナーの欠如等、集団の一員としての自覚、責任感が乏しい生徒が一部みられる。</p>	<p><b>教育目標</b> 「歴史を創造し、社会の発展に寄与するたくましい人間をはぐくむ」</p> <p><b>校訓</b> 「今、ここを生かす」</p> <p><b>基本方針</b> 「人として、高校生としての基礎・基本を身に付けさせる」 →「明るく、元気で、爽やかに、当たり前のできる生徒の育成」</p>	<p><b>教育関係法規</b> ○ 日本国憲法 ○ 教育基本法 ○ 学校教育法 ○ 学習指導要領</p>
<p><b>保護者・地域の実態</b> 本校は、地域貢献・社会奉仕活動を推進しているため、教育活動に対して好意的な印象をもっている保護者、地域住民が多い。 しかし、一部の生徒による登下校のマナーの悪さから、苦情を寄せられることがある。</p>	<p><b>学習指導</b> ○ 学習習慣の育成 ○ 基礎学力の定着</p> <p><b>生徒指導</b> ○ 基本的な生活習慣の育成 ○ 身だしなみ指導の徹底</p> <p><b>進路指導</b> ○ キャリア教育の推進</p>	<p><b>本校道徳教育の推進</b> ○ 人間としての在り方生き方を考えさせる教育を推進する。 ○ 花づくり等、異校種交流を通して、地域貢献活動を推進する。 ○ 地域での交通安全啓発活動やお年寄り向けパソコン教室、子ども走り方教室を通して、地域貢献・社会奉仕活動を推進する。</p>
<p><b>学校生活の道徳教育</b> ○ 時間を守る、約束を守る ○ 集団の一員としての自覚を育てる ○ 自主的・主体的に行動する態度を養う ○ 身だしなみを整える ○ 挨拶、礼儀、マナー ○ 健康で明るい生徒を育てる</p>	<p><b>実践目標</b> <b>リセット！ゼロからのスタート</b> ○ 中学生生活をリセットして、新たに守高生活をスタート ○ 頭を鍛え、体を鍛え、心を鍛え、3年間で自分をリフォームし、ニューキャリアで卒業</p>	<p><b>学習</b> 苦痛な学習から分かる学習へ →社会に必要な最低限の知識・技能の習得</p>
	<p><b>本校道徳教育の重点目標</b> 将来、有為な社会人として、活躍するのにふさわしい道徳性の育成と実践力を養う。</p>	<p><b>生活</b> マナーとコミュニケーション →人間関係形成能力の育成、仲間づくり</p>
		<p><b>進路</b> 自己理解、自己実現 →社会への出発準備</p>

各学年のねらい「守高生の規範意識を育てる」		
<p><b>1 学年「自覚と責任」</b> ○ 総合的な学習の時間による「仲間づくり」を通して、他者とのかわり方を学び、望ましい人間関係の構築を目指す。 ○ オリエンテーション活動や日々の生活、授業、集会の中で規則を守る重要性を学び、社会で必要とされる規範意識を身に付ける。 ○ 進路意識をもたせることで、自分の在り方を深く考えさせ、物事に取り組む態度、姿勢を自ら改めようとする力を育てる。</p>	<p><b>2 学年「信頼と協同」</b> ○ 修学旅行を通じて、心身の調和のとれた発達を目指し、集団や社会の一員として望ましい人格の形成を目指す。 ○ 「ものづくり」の総合的な学習の時間を通して、物事へ創造的かつ主体的に取り組む態度を育て、自己を生かす能力を養う。</p>	<p><b>3 学年「誇りと自己実現」</b> ○ キャリア教育の推進の一環として、総合的な学習の時間を有効活用し自己実現を目指す。 ○ 学年集会を利用した道徳教育の実践（学年団による啓蒙活動）と身だしなみ、言葉遣いなど、社会人として必要な能力や態度を身に付けさせる。 ○ 夏休みの学年出校日に、全員参加の清掃活動（校外）を実施し、奉仕の心を育てる。</p>

総合的な学習の時間「Growing Up」		
<p><b>1 学年「仲間づくり」</b> <b>人間関係形成能力の育成</b> 生徒一人一人が自分の問題を自分で解決できる力を身に付け、「自尊心」「他人を尊重すること」「コミュニケーション」「問題を解決する技能」をテーマに取り組む。言葉・態度・文字を使った人間関係の在り方について学ぶ。 <b>&lt;FSS（フレンドシップシミュレーション）&gt;</b> ○ 相互理解のトレーニング ○ 怒りをコントロールする ○ トラブル解決法 ○ トラブル解決スキルの実践 <b>&lt;態度・言葉&gt;</b> ○ 客と店員の言葉遣いと態度 ○ 電話のかけ方、手紙の書き方</p>	<p><b>2 学年「ものづくり」</b> <b>情報活用能力と将来設計能力の育成</b> ものを作ることを通して、仲間と協力することの大切さを知る。9講座の中から、自分が関心をもった課題を選択し、情報の集め方や調べ方などの学び方やものの考え方、様々な機関と積極的にコミュニケーションを行う姿勢を身に付ける。 ○ 俳句づくり ○ ダンスづくり ○ 折り紙縁起物づくり ○ 水切り絵づくり ○ お裁縫 ○ 体づくり ○ 〈守山いろは〉かるたづくり ○ 図書館づくり ○ インターンシップ</p>	<p><b>3 学年「夢づくり」</b> <b>意思決定能力の育成</b> 生徒一人一人が、進路の実現に向けて何が必要かを考え実践する。社会人として通用する教養とマナーを身に付け、自己の向上を図る。 <b>&lt;就職&gt;</b> ○ 働くことを考える ○ 正社員を考える ○ 講話「働くとは」（ハローワーク） ○ 講話「マナー指導」キャリアサポーター <b>&lt;専門学校&gt;</b> ○ 講話「専門学校選びのポイント」 ○ 専門学校の実際（OBによる） ○ 一般教養 <b>&lt;大学・短大&gt;</b> ○ 大学とは ○ 学部・学科の選定 ○ 費用について ○ 小論文実践、面接実践</p>

各教科のねらい					
<p><b>国語科</b> ○ 小説教材を通して登場人物の心情を読みとる。強い相手への気持ちを理解する力を高める。 ○ 古典教材を通して日本文化に触れ、日本人の心の機微を理解するとともに規範意識を身に付ける。 ○ 評論、随筆を通して人権や平和について取り上げられるよう工夫する。</p>	<p><b>数学科</b> ○ 数学的活動をする中で、筋道を立てて表現する能力を高めることが必要となるが、同時に判断力を育成する。 ○ 数学を学ぶ中で、工夫して生活や学習しようとする態度を育てる。 ○ 論理的思考を育む中で、相手の考えや行動を理解する力を育てる。</p>	<p><b>英語科</b> ○ 外国語（英語）学習を通じて、我が国や外国の言語や文化に対する理解を深める。 ○ 様々な価値観の違いを知りそれを尊重する態度の育成を図る。</p>	<p><b>地歴科</b> ○ 歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、変化していく現代社会で主体的に生きる人間を育成する。 ○ 社会と自分のかかわりを考察させることを通して、生きる主体としての自己を形成させる。</p>	<p><b>公民科</b> ○ 現代社会の諸問題を取り上げて考察させる中で、理解を深めさせるとともに、社会の変化に主体的に対応して生きていける人間を育成する。 ○ 社会と自分のかかわりを考察させることを通して生きる主体としての自己を形成させる。</p>	<p><b>理科</b> ○ 自然と人間生活とのかかわりを理解させ、その認識を深める。 ○ 事物の現象に関する観察・実験を行い、その本質を理解させ、判断力を身に付ける。 ○ 科学的な自然観を育成し道徳的判断力を身に付ける。</p>
<p><b>保健体育科</b> ○ 運動を実践することにより自己の責任を果たし、チームに貢献しようとする公正、協力の態度を育成する。 ○ 集団行動を通して時間を守る、ルールを守る、集団に参加し協力するといった態度を養う。</p>	<p><b>家庭科</b> ○ 家族の一員としての役割を果たし行動することを認識させる。 ○ 地域社会の一員として、共に支え合う重要性を認識させる。 ○ 生涯を見通した自分の生活について主体的に考えることができるようにする。</p>	<p><b>芸術（音楽）</b> ○ 音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。</p>	<p><b>芸術（美術）</b> ○ 美術の幅広い活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。</p>	<p><b>芸術（書道）</b> ○ 書道の幅広い活動を通して生涯にわたり書を愛好する心情と書の伝統と文化を尊重する態度を育てるとともに、書の伝統と文化について理解を深め、豊かな情操を養う。</p>	<p><b>情報科</b> ○ 情報化がもたらす利便性とそれが悪用されたときの危険性や、危険を防止するための法律による規制や保護及び情報技術によるセキュリティ対策を理解させるとともに、望ましい情報化社会のために必要なことを学ばせる。</p>

ホームルーム活動・学校行事		
<p><b>&lt;1 学年&gt;</b> ○ オリエンテーション ○ 進路セミナー（中央大学） ○ 進路別ガイダンス</p>	<p><b>&lt;2 学年&gt;</b> ○ インターンシップ ○ 進路別ガイダンス</p>	<p><b>&lt;3 学年&gt;</b> ○ 高大連携授業（大同大学） ○ プレドライバーズセミナー ○ 講話「社会人に求められること」</p>

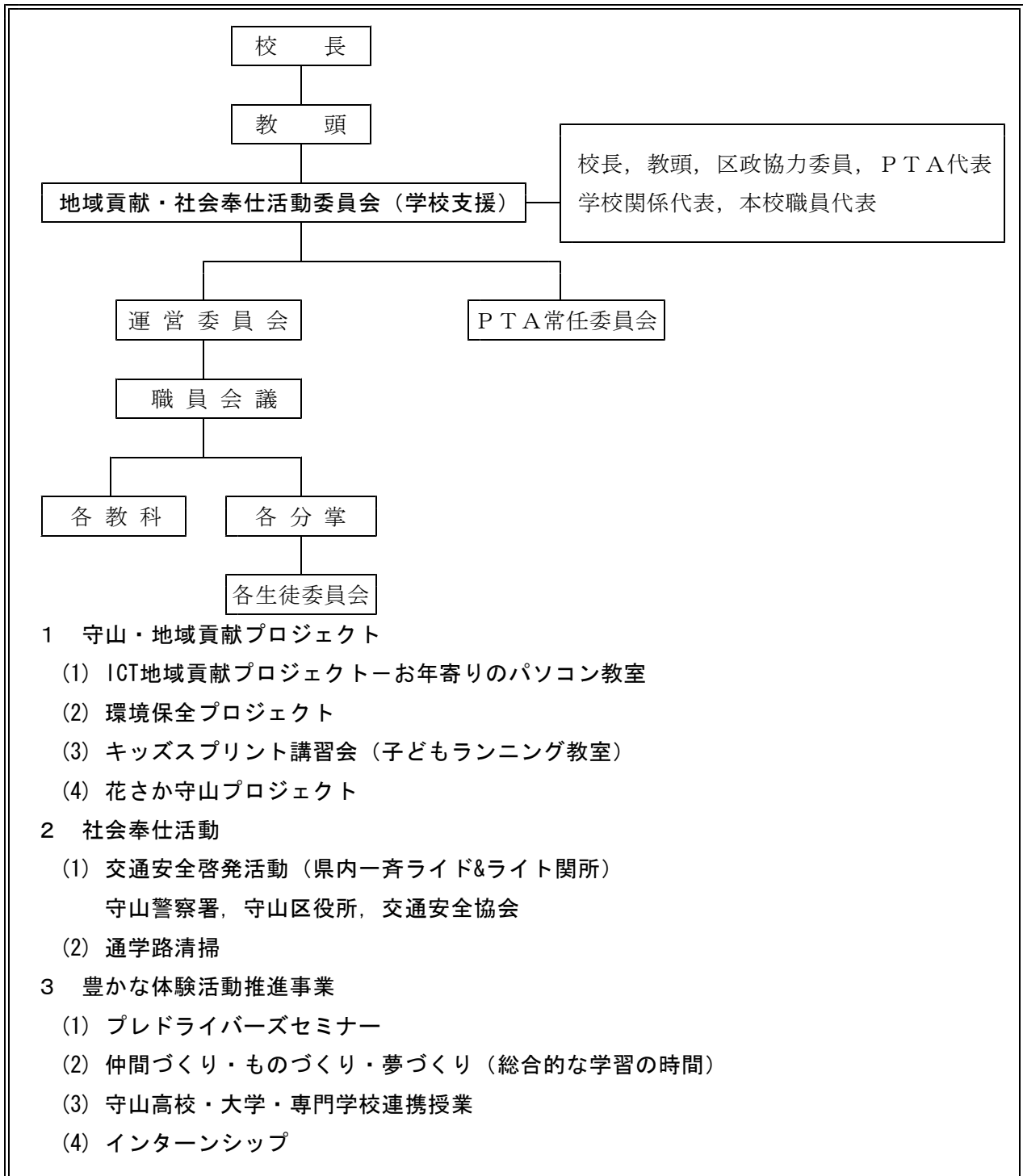
地域と連携した体験活動
<p><b>&lt;平成22年度地域とあゆむ学校づくり推進事業&gt;</b> 1 「地域合同交通安全プロジェクト」生徒が交通安全指導高校生として、地域での交通安全の啓発活動を行い、異世代間の交流を通して次世代の人間を育てる。 2 「地域住民対象初心者向けパソコン教室、キッズプリント講習会（子どもランニング教室）」生徒が講師となって地域社会に貢献することで、自己肯定感や自己存在感を育てる。 3 「めざせ！ホテルの里」地域の方々と一緒に、人と自然の共生を目指す教育活動を行う。</p>

## (2) 校内の指導体制の充実と異校種、家庭・地域との連携の在り方

学校で学び、家庭ではぐくみ、地域で育つという教育の機能分担は失われつつある。生徒たちに社会や地域の人々とかかわる場を提供し、地域への帰属意識を高めることは大切なことである。総合的な学習の時間や体験活動を更に充実させることによって、道徳性、社会性の育成につながる学習を展開することも可能である。そのために、地域を舞台にした体験学習や地域住民との触れ合う活動など、地域との協力関係に根ざした活動を行っていくことが必要である。

そこで、平成22年度地域貢献・社会奉仕活動と愛知県教育委員会指定事業「地域とあゆむ学校づくり推進事業『守山・地域貢献プロジェクト』」を活用した。

### ア 平成22年度 地域貢献・社会奉仕活動



## イ 平成22年度 地域との協力関係に根ざした体験活動年間指導計画

月	活動内容	活動場所	項目	備考
4	○総合学習（仲間づくり・ものづくり・夢づくり）	各クラス及び特別教室	総合学習	全学年通年
5	○環境保全プロジェクト（ホテルの里計画） ○第1回通学路清掃	才井戸流れ周辺 本校通学路	地域貢献活動 社会奉仕活動	2年生 ボランティア
6	○守山高校・大学連携授業 ○花さか守山プロジェクト①	名古屋市内私立大学 近隣幼稚園，保育園，小学校	豊かな体験活動 地域貢献活動	3年生情報活用コース 3年ライフスキル
7	○進路セミナー	名古屋市内私立大学	進路行事	全学年希望者
8	○地域のお年寄り向けパソコン教室 ○ランニング講習会（子どもランニング教室） ○インターンシップ	本校パソコン教室 本校グラウンド 各事業所	地域貢献活動 地域貢献活動 豊かな体験活動	情報活用コース生徒 陸上部 希望者
9	○ライド&ライト関所（前照灯早め点灯運動） ○花さか守山プロジェクト②	上志段味交差点 近隣幼稚園，保育園，小学校	社会奉仕活動 社会貢献活動	交通安全指導高校生 3年ライフスキル
10	○AED講習会 ○キャリアサポーターによる就職希望者の個別面談 ○外部講師による2年生総合学習（ものづくり） ○第2回通学路清掃	本校武道場 小会議室 特別教室（講座ごと） 本校通学路	豊かな体験活動 進路行事 豊かな体験活動 社会奉仕活動	3年生 3年生就職希望者 2年生 ボランティア
11	○ブレドライバーズセミナー ○小学生及び地域住民向け交通安全教室	春日井自動車学校 志段味地区会館	豊かな体験活動 社会奉仕活動	3年生 交通安全指導高校生
12	○学校安全大会	本校体育館	学校行事	全校生徒
1	○守山高校・専門学校連携授業 ○進路別ガイダンス	名古屋市内専門学校 各クラス	豊かな体験活動 豊かな体験活動	2年生情報活用コース 1年生
2	○守山高校・専門学校連携授業 ○異世代コミュニケーション	名古屋市内専門学校 近隣幼稚園，保育園，小学校	豊かな体験活動 社会貢献活動	1年生情報活用コース 3年ライフスキル
3	○花さか守山プロジェクト③ ○進路別ガイダンス	近隣幼稚園，保育園，小学校 各クラス	社会貢献活動 豊かな体験活動	3年ライフスキル 1・2年生

### 4 研究の内容（研究実践）

#### (1) 地域合同交通安全プロジェクト（社会奉仕活動）

平成20年度文部科学省委託「地域合同交通安全プロジェクト」を発足させてから3年目になる。平成21年度から愛知県教育委員会指定事業「地域とあゆむ学校づくり推進事業『守山・地域貢献プロジェクト』」として活動を引き継ぎ、地域の小中学生や地域住民に対し、交通安全キャンペーンや交通安全教室を行った。

また、平成21年度は、「高校生防災セミナー」において学習した生徒が、「交通安全・防災キャンペーン」や「交通安全教室」に参加し、地域の小中学生，住民に対して防災啓発活動を行った。

##### ア 交通安全・防災キャンペーン

平成21年10月に、本校交通安全指導高校生が、「しだみ芸能と文化のつどい」において交通安全啓発活動に参加し、地域貢献・社会奉仕活動として本校オリジナルDVDを使った交通安全教室を実施した。会場には多くの小学生が集まり、交通安全について学習した。

最初のうちはどうやって声掛けをしたらいいかわからなかった生徒たちも徐々に積極的になり、近くで交通安全を呼び掛けている警察官の態度や言葉遣いを参考にして、たくさんの人に交通安全を呼び掛けることができた。コンピュータを担当した生徒たちは、子どもたちの様子をよく見てアドバイスをし、交通安全の学習が円滑に進むように、気を配って活動することができた。また、DVDを視聴された地域の方からは、たくさんのお褒めの言葉をいただいた。



〈交通安全教室〉

イ 平成21年度地域合同学校安全大会

1年間の交通安全推進事業の集大成として、平成21年12月に守山警察署、守山区役所まちづくり推進室と合同で学校安全大会を実施した。本校生徒が交通安全と防災について発表し、交通安全や防災に対する本校の取組を全校生徒で共有するとともに、愛知県交通安全教育ボランティア「かけ橋」にも参加していただき、マジックによる交通安全教室を行った。

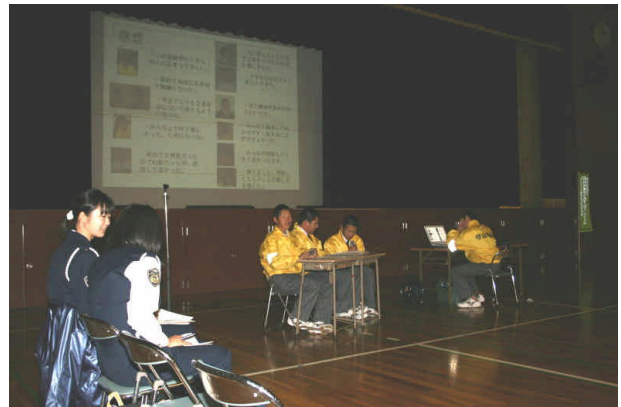
交通安全指導高校生として活動に参加した生徒のアンケートには、「交通安全指導高校生として地域のために貢献できてよかった」「交通安全を訴えることで、自分自身の中に交通安全を守ろうという意識が強くなった」という意見が多数あり、大変有意義な活動となった。また、地域住民向けのアンケートの中にも本校の活動に対して温かい言葉があり、次年度以降の交通安全啓発活動に対して自信と意欲をもつことができた。

ウ 平成22年度ライド&ライト関所（夕暮れ時の前照灯早め点灯運動）

平成22年9月に、運転者の視認性の向上を図り、歩行者や自転車、対向車に自車の存在をいち早く知らせるために、早めにライトを点灯することを推進する「ライド&ライト運動」に参加した。守山区役所と守山警察署、地域住民と協力して街頭でサインボードを掲出し、ドライバーに対して交通安全と前照灯の早めの点灯を呼び掛けた。交通安全に対する今までの取組は、本校が地域に呼び掛けて実現したものであるが、今回の活動は地域からの依頼によるものである。本校のこれまでの交通安全に対する取組が評価された結果と言える。



〈防災啓発活動〉



〈生徒による実践報告〉

高校生の生徒さん方が自ら交通安全に取り組んで  
いる姿を見て、とてもたのしく、嬉しく思いました。  
交通事故で悲しい思いをすることは、絶対に  
避けたいことだと思います。子どもたちが交通安全に  
いつても意識をもつていけるよう、親として努力したいと  
思います。これからも活動をがんばって下さい。

〈地域住民の感想〉



〈真剣に説明を聞く生徒〉



## エ 平成22年度自転車安全利用講習会

平成22年12月に、自転車運転時のマナーや危険性を学習するために守山警察署、守山区役所まちづくり推進室と協力して自転車安全利用講習会を開催した。この講習会では、スタントマンが実際に起きる可能性の高い事故の状況を再現し、自分たちの自転車の利用状況を振り返りながら、事故の生々しさを疑似体験した。生徒の感想には、「事故になったときの悲惨さが分かった」「どんな時に事故が起こりやすいか分かったので、これから事故に巻き込まれないように気を付ける」といった意見があり、自転車運転時の交通安全に対する意識を高めることができた。



〈スタントマンによる再現事故の様子〉

## オ 成果

地域合同交通安全プロジェクトは、地域と連携した体験学習や地域社会との協力関係に根ざした活動をする中で、生徒自ら規範意識を高めていく目的で始まった。その意味で、交通規則を学んだ生徒が、地域の方々に交通安全を呼び掛ける際に、自分たちの態度や言葉遣いに気を配れたことは大きな成果であり、社会奉仕体験が効果的に規範意識に作用したと言える。新聞で本校の交通安全に対する取組が紹介された際、生徒が「有意義だった」と感想を述べていたのがとても印象的で、継続して交通安全啓発活動をしていこうという意欲にもつながった。また、このような活動を地域で継続することで本校に対する評価が高まり、「守山高校頑張っているね」と声を掛けていただけるようになったことも大きな成果である。

### (2) 地域住民対象初心者向けパソコン教室（地域貢献活動）

平成22年8月に地域の高齢者向け初心者パソコン教室を行った。本校情報科の教員と生徒が講師となり、パソコンの基本的な操作方法の説明や実演を行った。熱心な参加者が多く、講師として参加した生徒には貴重な体験となった。



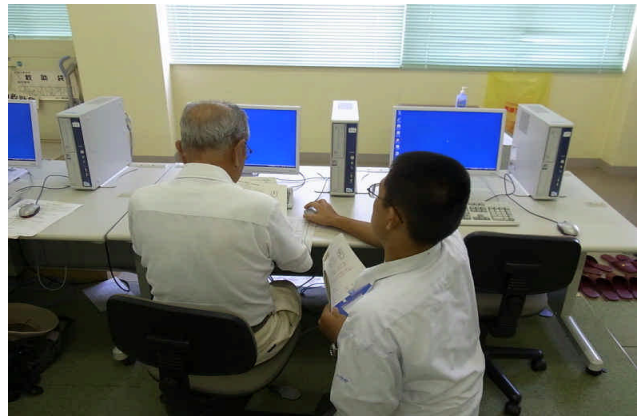
〈参加者の様子〉



〈講座内容を説明する生徒〉

講座が始まる前に、お年寄りの方々に失礼のないようにするにはどうしたらよいかを生徒たちに考えさせた。生徒たちは、「言葉遣いに気を配る」「お年寄りと同じ目線になるようにかがむ」など、自分たちで注意すべきことを確認し合っていた。

実際の講座の中でも、お年寄りの質問に対して真剣に耳を傾け、分かりやすく説明している生徒の姿が随所で見られ、意識の高さを感じることができた。



〈お年寄りに説明している生徒〉

参加者の感想には、「守山高校の生徒さんがとても礼儀正しく、丁寧に説明してくれたので分かりやすかった」「今度もこういった講座を開いてほしい」という意見があった。生徒たちはその感想を読んで、人前での礼儀の大切さと社会貢献活動の意義を再認識することができた。

### (3) キッズスプリント講習会（地域貢献活動）

平成22年8月に本校グラウンドにおいてキッズスプリント講習会（子どもランニング教室）を行った。陸上部顧問と生徒が地域の園児、児童（低学年）を招き、短距離走の走り方を指導した。秋の運動会に向け、多くの親子に参加していただいた。講師として参加した生徒たちは、自分たちが手本だという意識をもち、普段以上に真剣な面持ちで活動していた。



〈参加者の活動の様子〉



〈手本を見せる生徒〉

キッズスプリント講習会后、自分たちの取組について振り返り用紙に記入させ、人と接することの難しさや、地域の方と交流することの大切さをもう一度考えさせた。振り返り用紙からは、「言葉遣い」や「教え方の工夫」「次回の目標」など、多くの反省と意見があり、生徒の向上心の高まりを感じることができた。

また、「園児、児童に教えていくうちに、分かっているのに教えるのは難しいということに気が付いた」や「人に教えることが自分の成長につながった」という感想も多くあった。この活動を通して生徒が得たことは精神的にも技術的にもたくさんあり、とても有意義な活動となった。特に、地域に貢献することで自分たちが感謝され、認められるという経験は大きく、自己有用感

**「キッズスプリント講習会」振り返り**

名前 XXXXXXXXXX

- キッズスプリント講習会にどうして参加しようと思いましたか。  
 自分が手本を見せていても、教えるのが、難しいから。
- 地域の方と接するとき心掛けたことは何ですか。(言葉づかい・あいさつなど)  
 一人一人に丁寧に教えること、質問に答えることにしました。
- あなたが教えたのは何ですか。また、相手の反応や自分の教え方はどうでしたか。  
 ドリルト、チェンジ、コンパニを教えました。自分が先にはやっていたことも。
- キッズスプリント講習会に参加して学んだことや感じたことを書きなさい。  
 自分の自分の身が、周りの誰かのために役に立つこと、自分が手本を見せていることで、みんなが分かるように教えるのが、楽しかったこと、でも、自分の反応に、悔しかった。

〈生徒の振り返り用紙〉

や自己肯定感、自己存在感といった自己の意識の高まりを感じることができた。

## 5 研究のまとめと今後の課題

本校は平成17年度より地域と連携した様々な活動を実施している。その中で、この3年間で特に力を入れてきたのが「地域合同交通安全プロジェクト」である。生徒が地域で交通安全啓発活動を行うことで、自らの交通安全の意識の低さに改めて気付くことができた。「しだみの芸能と文化のつどい」では、「最近の守山高校は昔とずいぶん変わってきましたね」という意見を地域住民の方より多くいただき、生徒の活躍の場の提供だけでなく、守山高校を地域の一員として見守っていただいていることが強く感じられた。このような地域との協力と連携がなければ、今日の守山高校、そして生徒の成長は成し得なかったと言える。

初心者向けパソコン教室やキッズプリント講習会では、参加希望者が予想をはるかに超えるほどの人気であった。これは、今までの地域貢献・社会奉仕活動により、守山高校のイメージが改善されてきた一つの証拠である。参加者の感想には守山高校や生徒の取組に対して肯定的な意見が多く、地域や家庭で守山高校の話をしていただければ、更なるイメージアップにもつながる。これらの地域貢献・社会奉仕活動から生徒が学ぶことも多かった。参加者が増えた分、それだけ言葉遣いや気遣いの苦勞も増えたが、生徒たちが失礼のないように自ら礼儀や作法に気を配って活動できたことは大きな成果であり、そのような生徒を育てることで道德教育の意識をもった教師の割合が確実に増えている。これは、地域への貢献と生徒の成長、そして教師の願いがうまく作用した例である。

今年度の地域連携計画は終盤まできた。今後は、1・2年生の総合的な学習の時間で外部講師を招き、キャリア教育の一環として「進路ガイダンス」に取り組んでいく予定である。また、情報活用コースの生徒は大学との連携授業を計画している。道德の時間が設けられていない高等学校では、このような活動で地域の方と触れ合い、普段の学校生活では体験できない活動を生徒だけでなく、教師にも増やすことが必要である。地域貢献・社会奉仕活動の反省を集約し、守山高校の教師・生徒全員がかかわることができる道德教育を確立していくことが今後の課題である。

## 6 おわりに

高等学校は、小・中学校と違い、一度確立されてしまった評判や評価を改善することは難しい。1年間教育活動に専念しても、なかなか結果の出ないことも多々ある。しかし、我々教師の目指す生徒像には一点の曇りもなく、常に全力で生徒と学び合っている。地域との連携は確実に成果を実感でき、地域の評価も上がっている。今後も活動の質を高めながら実践と研究を重ね、地域に根ざした学校を目指していきたい。



# 「キッズスプリント講習会—運動会で一番になろう！—」の御案内

「走ること」はすべてのスポーツの基本です。守山高校では、県教育委員会が行う「地域とあゆむ学校づくり推進事業」の指定を受け、今年度の地域開放講座として、下記のような園児・児童（4才児から小学校2年生程度）を対象に、正しいランニングフォームを無理なく身に付ける「キッズスプリント講習会」を実施します。秋の運動会シーズンに備えて、夏休み最後の土曜日、いい汗流してみませんか。皆さんの御参加をお待ちしています。

## 1 日時・内容など

平成22年8月28日（土） 9時30分～11時30分  
 9：00～ 受付（体育器具庫前（グラウンド東側・家庭科室北側））  
 ＊校内の案内板を設置します。

9：30～11：30 講習会（グラウンド）

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| ①準備体操（ストレッチなど）  | ④正しいスタートダッシュとは？ |
| ②すばやい動きを体験しよう   | ⑤走ってみよう         |
| ③正しいフォームを身に付けよう | ⑥整理体操（ストレッチ）    |

## 2 場所

守山高校グラウンド  
 〒463-8503 名古屋市守山区中志段味字元屋敷1267

## 3 講師

本校の陸上競技部顧問（愛知陸上競技協会主催の愛知陸上教室コーチ）が指導し、陸上競技部生徒が補助員を務めます。

## 4 参加者の募集について

- (1) 地域の園児・児童（4才児から小学校2年生程度）を対象とします。行き帰りの交通安全に気をつけ、保護者同伴でおこしください。また、ぜひ保護者の方も一緒に御参加ください。
- (2) 募集人員は20名（20組）です。
- (3) 傷害保険に加入していただくために、事前にファクシミリ（住所、氏名、生年月日、電話番号）にて本校にお申し込みください。参加希望多数の場合は先着順とさせていただきますので御了承ください。定員を超えた場合は折り返し御連絡いたします。

## 5 募集〆切 8月23日（月）

## 6 その他

- (1) 参加費無料ですが、当日の保険料として一人150円（予定）を集めさせていただきます。
- (2) 運動靴等、運動のできる服装でおいでください。更衣室は用意しますが、貴重品は各自で管理をお願いします。
- (3) 水分補給が必要ですので、各自で御持参ください。
- (4) 雨天等でグラウンドを使用できない場合は体育館で実施します。

\*天候不良等が予想される場合は体育館シューズ等を御持参ください。

ラダーやミニハードル  
 を使ってフォームを  
 作ります。



お問い合わせ先

愛知県立守山高等学校  
 電話 (052) 736-3500  
 F A X (052) 736-3320